

ITSUMIKAI



会報誌ITSUMIKAIは次号の35号をもちまして
休刊し、ホームページに移行いたします。



五三会ウェブサイト（ホームページ）
URL <http://www.itsumikai.jp/>

No. **34**
平成19年度版

目次

会長あいさつ	1
先生あいさつ	2
東京支部発足	3~5
トピックス	6~8
第33回建築設計競技	9~13
広島工業大学建築・環境系教員名簿	14
五三会活動報告	15
五三会収支決算報告	16
五三会会則	17
スポンサー一覧・お知らせ	18

！会長あいさつ

会長就任に寄せて



五三会会長
渡辺 武彦 (69年卒)

五三会会員の皆様いかがお過ごしでしょうか、お元気で御活躍のことと思います。この度会長に就任いたしました渡辺武彦(1969年1期生)と申します。5年間の大きな実績を残された梶山前会長

(1974年6期生)の後任ということもあり、最初は固辞いたしました。しかしながら最近の社会の変貌や人と人の心のつながりの希薄さ等から、私達の五三会においても相互の関係性の見直しを迫られるような状況が見られるようになりました。そこで1期生に再度力を貸して欲しいと強い要望があり、微力ながらお手伝いをさせていただくことになりました。五三会の活動につきましてはこれまでの会報誌や五三会のホームページ等に紹介しておりますので、是非とも御覧ください。就任に当たりまして、私が現在思っていることなどを徒然なるままに少し書いてみたいと思います。

昨年(2006年)ほど子ども達に対する悲惨な事件で明けて、そして暮れた年はいじめ、自殺、親による虐待、そして親子、兄弟、友人間による殺人事件など社会全体があちこちで歪み、正常でないと感じられたのではないのでしょうか。また20世紀を振り返ってみましても、世紀初頭に100年間で生態系を含めて世界がここまで変貌するなど誰が予測したのでしょうか。そして人口も15億から60億に増え続けています。今世紀に入りまして、10年、20年先のことも予測が難しくなったことを多くの人が感じ始めていると思います。ハード面の急速な変化はあちこちで私達がついて行けない状況も生み出し、そして地球や私達の身近な環境も見えない所ではもっと大きな変化が生じているように思います。私達の身近なまちづくりなど、つい何年か前まではスプロール現象などが取りざたされていましたが、今や逆に人口が都市へ都心へと集中し始め、地方はますます過疎化に拍車がかかっているように思います。そして未だに20世紀の価値観を引きずって効率性、機能性、利便性が追及され、建築も人口が増える毎に多くの箱物が造られ、当たり前のようにscrap and buildが繰り返されて来ました。そしてまちの歴史や文化など、どこかに消え去っています。先が見えない状況の中で大型プロジェクトが次々と計画され、建築も一段と大型化、高層化が進んでいます。交通機関の便利な駅周辺など、どこ

でも風景が同じような高層マンション郡で溢れています。税収減などから公共のインフラ整備が追いついていけない状況もあり、それぞれ何年先の事を考えて設計されているのでしょうか。そしてその建物の中には人間の生活があり、子ども達が生まれ育っていることが忘れ去られているように思います。そこで私が一番気になるところは子ども達が生まれ、育まれる環境や場が置き去りにされていることなのです。昔から国づくりは人づくりからと言われて来ましたが、しかし20世紀に日本独特の自然や文化、そしてわびやさびの世界、情緒や人情、国家の品格(藤原正彦著書にもある内容)なども置き忘れられて来たように思います。そのような中で子ども達の正常な成長は望めません。今後は、子ども達をもっと自然の中に帰して生得性(人間が本来持っている五感。自然との対話の中で身に付く)を身に付けさせて習得性とのバランスを計れるような環境と教育(知育・食育)が絶対条件として必要だと思いません。それは当然大学教育の根幹につながっていく問題だと思うからです。また最近では若者言葉や携帯電話、ブログの進化などによりジェネレーションギャップからくるコミュニケーション不能などが見られるようになりました。そして現代の核家族化、個人主義などに見られる「自由」の履き違えなども大きな問題なのではないでしょうか。そのような状況が見られる現代、同窓会の在り方につきましてももっと違った角度で見直しても良いのではないかと考えております。就任して8ヶ月が過ぎてしまいました。今は広報活動の充実や、支部を全国に増やして行くような方策も検討し、各地の同窓生の皆様の御活躍を紹介したり、大学との関係性をもっと密にして在学学生の皆さんや大学の各先生方の研究やコメントなどを紹介し、皆様に楽しんでいただける、より魅力的なホームページづくり、ネットの利用や小イベントを増やし、それらを通じてコミュニケーションが常に取れる体制づくりなど多くの検討課題があります。どうぞ皆様の五三会をより充実した同窓会として育てていただきたく、御協力をお願い申し上げます。そして皆様方の御健勝と今後ますますの御活躍を祈念いたしまして御挨拶とさせていただきます。

先生あいさつ

五三会の皆様へ



環境デザイン学科
教授 野添 久視

五三会の皆様におかれましては、様々な業界でますますのご発展のこととお喜び申し上げます。また、平素は後輩の就職等で多大なるご協力をいただき感謝申し上げます。

環境学部環境デザイン学科の現況を紹介させていただきます。既にご承知のように広島工業大学の環境学部は、1993年に我が国で初めての環境学部として設置され、環境デザイン学科も15年の節目を迎えようとしています。環境デザイン学科は、平成16年度から新しく「建築デザインコース」、「福祉住居・インテリアコース」、「環境マネジメントコース」の3コース制が導入され、いよいよ真価が問われる年度になりました。

「環境デザイン」という言葉が一般に幅広く使われており、これまで「環境デザイン学科」の説明には苦慮しておりましたが、コース制の導入を打ち出すことによって特色ある学科としてその内容が鮮明になったと思っております。さらに、自然環境共生とスローライフに根ざした健康で良好な安心できる住環境づくりを追求することとしました。

「建築デザインコース」では自然・都市環境との調和を考えながら、公共施設や集合住宅などの建物づくり、「福祉住居・インテリアコース」では子供から高齢者まで安心して生活できる健康で良好な住まいづくり、そして「環境マネジメントコース」では地区・都市の計画から修景・造園、環境管理・政策に関する地域の環境づくりを内容としています。3年次から開講されるコース専門科目は、自己の適性にあったコースを選択し、専門の応用が身につくように実習、演習による実践的

鍛錬に主眼を置いています。

平成18年度からは「環境デザイン学科」が「建築デザインコース」と「福祉住居・インテリアコース」の2コース制になり、新たに「地域環境学科」を増設して出発することとなりましたことを申し添えます。

コース制の下で勉学に励んでいる3年次生を対象に就職指導の一環として、「五三会」による業界研究会を平成18年11月13日に実施いただきました。渡辺武彦会長にご協力いただき、古本竜一幹事長の司会で進められました。ハウスメーカー：川本大介氏、建材メーカー：木原充博氏、ゼネコン設計：辰巳公一氏、ゼネコン施工管理：中村智治氏、そして、インテリア：流森由美氏が、それぞれ業界についてどのような仕事なのか先輩として懇切丁寧なご説明がありました。学生にとって有意義な就職ガイダンスになったと感謝しております。その後、「五三会交流会」として卒業生の皆様と学生との懇親会が催されました。学生にとって「五三会」を身近に感じ、卒業生の皆様とも親密な関係が築かれたことと存じます。このような催しは2回目になりますが、今後とも続けていただけるとのことで、深く感謝申し上げます。

最後に、コース制を学んだ学生に対しましても、今後とも卒業生の皆様のご支援をいただき就職等におきましてご協力いただければ幸いです。五三会の皆様のますますのご活躍を祈念申し上げます。



東京支部発足

五三会東京支部交流会開催報告

2006.11.13. PM06:30-09:00 東京都新宿区西新宿1-25-1 「音音」にて

五三会東京支部交流会を開催し、みなさんに集まっていただきました。学生番号を覚えている人が多いのに驚きました。番号がでてこない人もいました。渡辺武彦会長からお祝い金をいただきありがとうございました。一同に回覧、御礼。次回から人数が増えるため通信費用として大切に使うということでみなさんに了承を得ました。席順で皆さんの近況を話してもらいました。

石田 敏明 445005 (佐藤立美研究室)

なつかしい、東京にきて34年くらいになります。まだ広島弁がぬけません。福山出身ですが、壇上さんと鷹村さんとカープの試合を後楽園に見に行きます。前田選手が好きでカープの追っかけを高校時代はしていました。高校時代のマドンナと結婚。1997年に前橋工科大学の教授として勤めています。

大山 能生 (旧姓 桜田) 585188 (篠原研究室)

主人も広島工大卒で大山儀高といいます。二人とも広島弁で通じますよ。主人は三井ホーム、今回は夫婦で出席します。最近、火星の土地をサッカーグラウンド1面分購入しました、3200円也。主人と仲良くしています。広島工大から東京工大大学院に進み大成建設技術センターに入り、現在は本社の建築本部課長代理です。

山田 誠司 515255 (水田研究室)

大学を卒業後、清水建設に勤務して現場を経験しました。その後、200年続いている木造の社寺建築をしている父親の三和工務店に戻りました。20年ほど型枠大工の仕事を仕切っています。都心では社寺は大規模木造では

できないのでコンクリートでつくりますが、きれいなコンクリートを求められます。社寺建築は清水建設と松井建設の仕事を請けてやっていたのですが、最近では独自受注の物件が増えています。古いところでは下関の赤間神社も祖父の時代に建造したとのこと。山口県の大島が出身なので海岸にある海の中にある神社も昔先祖がやりました。最近では教会や個人住宅も一部手がけています。

杉本 賢司 435065 (佐藤洋研究室・岡島暢夫教授)

昭和四七年に大成建設技術センターに入社し、材料研究を中心に行ってきました。昨年10月にタイセイ総合研究所に異動し新しい仕事をしています。大手化学会社、製薬会社、無機化学会社の技術指導や市場分析をしています。大成建設の部長に今年昇進しました。工学院大学、武蔵野美術大学、首都大学東京大学院の非常勤講師、著書には、「建築材料がわかる本 (日本実業出版)」「住まいの究極のレシピ (彰国社)」。日本色彩学会の理事会で広島工大 (知的機械工学科) の井上正之教授と同じメンバーになり驚きました。



東京支部発足



鷹村 暢子 535205 (水田研究室)

47歳になりましたが、苗字は変わりません。本日は笠置先輩の快気祝いでもあり、お花を用意しました。昔はみんなに「かわいいタカボウ」と呼ばれていたのですが、最近は誰も言ってくれない。広島工大では、彰国社の本を教科書につかってください。現在、「ディテール」の編集長をしています。売上げを伸ばしたことから、低迷気味の書籍部に来月からテコイレに転勤です。もう一つ、検診で乳がんの疑いがありとのことショックが大きい。頑張れタカボウ、みんながついているから。

下川 むつ子 (旧姓 岩切) 4350009 (牛島研究室)

九州から戻ってきました。ホテルニューオータニで送別会を昔やってもらいましたね。本日の夕方5時に垣中さんから連絡をもらい急速やってきました。垣中さんはやさしくてわたしの好みのタイプです。自分は、かつて「広工大小町」と言っていました。今、心配なのは英国に留学中の娘です。来年の6月には帰国します。お婿さんを募集中。希望者を募っています。設備設計の仕事はぜひ連絡ください。(株)潮設備コンサルタント設計主任。

垣中 祐二 565027 (水田研究室)

水野研究室の餅つき大会で頑張っているところを鷹村先輩に見出されました。私の人生は、水田先生→谷重先輩→鷹村先輩→ゲンブランへと流れがあります。設計事務所のゲンブランに18年もいられたのは光栄です。最長不倒距離。大学時代の餅つきでみせた抜群の体力、ゼミが仕切れること、のびのびとやっていることが先輩の心をつかみ、こいつは大丈夫だと感じたそうです。山田先輩からの設計の仕事をいただきありがとうございます。

「谷重さんに負けないように頑張ります」と決意を述べました。現在、こどもの小学校のPTA会長をしており、これが結構大変ですとのことでした。

壇上 昌司 495213 (佐藤洋研究室から水田研究室)

20年内装の仕事をして独立して、8年なんとかやっています。江東区扇橋に自社ビルを建設しました。一同おどろきの声。娘が美術大学を目指し一生懸命勉強しています。どこを受験するの、武蔵野美術大学。それは杉本さんが教えに行っている。ほんとですか。そうですよ、頑張っ受かったら授業を受けてください。こうして家族への話へとだんだん広がっていきました。

勝乗 吉雄 495172 (佐藤洋研究室から水田研究室)

東京にきて23年になります。創価学会とのつながりが大きく、息子、娘も創価学会の学校に通っています。娘はイエローキャブのメンバーです。インターネットでイエローキャブを検索してください。勝乗恵美さんの写真や紹介がたくさん掲載されています。みなさんもファンになってください。(株)創造社という設計事務所で設計課長をしています。

！東京支部発足

作品では川口駅前のホールは私が手がけたものです。

井黒 隆雄 575006 (水田研究室)

東京にきてから20年になります。建築の仕事と子供で楽しんでいます。アモルフで3人でやり、アモルフが京都に移転したので榎本弘之建築研究所に転勤しました。独立を目指して頑張ります。まずは、感性をいま以上磨きたいです。先日、榎本弘之建築研究所に鷹村編集長が榎本先生に取材に行ったのにすぐ側にいるにも係わらず気が付かないのはなぜと詰め寄られていました。

笠置 治 425175

大成建設に入社し、技術研究所、四国の伊方原子力発電所、東京、海外を経て東京に戻ってきました。今、タイムックというセクションで調達管理をしています。今回、甲状腺の病気で手術をして無事に治りました。お花をありがとう鷹村さん。一同拍手。みんなから「病気には気をつけて、お酒は飲み過ぎないように」と厳しい注意がありました。体が資本ですよ。広島の五三会の渡辺武彦会長とは大学時代に美術部で一緒だった話で盛り上が

りました。みんな卒業後にいろいろな場所で仕事をしているが、こうして同窓会で会える事はすばらしい。五三会東京支部を立ち上げることができてよかった。



事務局は茗荷谷に設けました

幹事：杉本賢司

副幹事：垣中祐二

五三会東京支部

〒112-0002

東京都文京区小石川5-4-13-303

杉本賢司

電話/FAX 03-3944-1958

E-mail k-sugimo@wd2.so-net.ne.jp

「五三会ホームページのお知らせ」

- ｜五三会ホームページでは、五三会関連情報の他に皆様からの情報やお知らせも掲載することが出来るようになっていきます。
- ｜メールまたはホームページより投稿出来るようになっており、情報掲示板に掲載されます。
- ｜その他、五三会ホームページに登録することにより、自社の紹介やお知らせも掲載できるようになっておりますので、是非、五三会ホームページへアクセスしてみてください。

問い合わせメールアドレス：info@itsumikai.jp

URL：http://www.itsumikai.jp/

トピックス

学生大賞決定・コンペ入選者・建築見学会報告

平成18年度 五三会学生大賞 決定

今年度の環境デザイン学科・建設工学科（建築工学コース）の卒業設計作品の中で、五三会顕彰制度認定事業委員会が審査を行い、優秀と認められた学生に対し表彰を行います。

受賞者：花岡 芳徳

環境学部環境デザイン学科 村上研究室

作品名：The other side of wall

平成18年度 コンペ入選者

2007年1月現在での在学生のコンペ受賞状況です。今年度も、全国のコンペに多数入選しております。

表記：
コンペ名
受賞名・受賞者
所属

2006年度支部共通事業 日本建築学会設計競技
「近代産業遺産を生かしたブラウンフィールドの再生」
中国支部入選 塚川 譲、戸田 祐輔
大学院 環境学研究科地域環境科学専攻
塚川：2年、戸田：1年

2006年度支部共通事業 日本建築学会設計競技
「近代産業遺産を生かしたブラウンフィールドの再生」
中国支部入選 相川 晋吾、河南 透、
笹江 章弘、中濱 弘高、
花岡 芳徳、平林 由衣
環境デザイン学科 4年

日本建築学会創立120周年記念支部共通事業
中国支部提案競技

「美しくまちをつくるー美しいまちの再生」
最優秀賞 中島 溪、下田 聖二、安井 雄治
中島、下田：建設工学科建築工学コース 3年、
安井：大学院土木工学専攻 1年

日本建築学会創立120周年記念支部共通事業
中国支部提案競技

「美しくまちをつくるー美しいまちの再生」
優秀賞 塚川 譲、戸田 祐輔
大学院 環境学研究科地域環境科学専攻
塚川：2年、戸田：1年

平成18年度 五三会建築見学会

今年度の五三会建築見学会は、少し足を延ばして香川県に行きました。本会会員（建築学科72年卒）で広島工大教授としてもご活躍の、村上徹先生の作品「高松市庵治支所（旧庵治町役場）」を含む、3つの建築を見学しました。OBと在学生総勢54の参加をいただき、1台のバスに乗り合いながら、懇親を深めた一日でした。

開催日時：平成18年7月15日

見学場所：

香川県立東山魁夷せとうち美術館

（設計：谷口建築設計研究所）

イサム・ノグチ庭園美術館

（設計：イサム・ノグチ、山本忠司（協力））

高松市庵治支所

（設計：村上徹建築設計事務所）



トピックス

建築見学会（学生感想文）

建築見学会

広島工業大学環境学部環境デザイン学科4年
B103145 松尾 浩志

建築見学会ということで私が訪れたのは、香川県である。今回この建築見学会全体を通して私と建築物の出会いや対話が多くあったと感じた。

最初に訪れた建築物は、私が一番好きな建築家である谷口吉生氏が設計した東山魁夷せとうち美術館である。美術館は、建物を一枚の大きな壁で東西に貫いており、瀬戸内側とオリーブなどの植栽が施された公園側がこの壁によって隔離されているところに大きな特徴がある。谷口氏が設計した建築物は無駄のないデザインで、いらぬ部分がひとつもなく、ファサードや構造物がシャープなイメージが強い。この美術館も同じく1階展示室にある柱の存在が私の心を捉えて放さなかった。なかでも鳥肌が立ったのは2階展示室につながり隣接するデジタル展示室から階段を降りるときに感じる空間の断裂である。一つひとつ段を下りるごとに広がる雄大な瀬戸内を目の当たりにすることができた。このとき私は意味のある空間を本当につくりたいと思ったほどだった。

昼食をとり、次に向かったのはイサム・ノグチ庭園美術館である。ここでは石の存在、又は意味するものを私なりに考えたが、本当にイサム・ノグチが伝えたかったことはわからなかった。だが実際に石の前に立つことによって何かを感じ取ることができた。それは石のもつ存在感と空間の流れが読み取れた。

最後に向かった先は村上徹氏が設計した庵治町役場である。町が合併したことによ

り、あまりつかわれなくなっていたが、村上氏の特徴が周りに見受けられた。約10年前に建てられたこともあり、広島市佐伯区にあるなぎさ小学校と比べ、少し特徴や変化があるように思った。それは村上氏の建築のあり方が年々変化を遂げ、未来につながる発想を生み出しているのだらうと解釈した。

今回訪れた3つの場所ではその地域に住む、または従業員の方々に大変お世話になり、そしてこの見学会の企画をしてくれた関係者、先生方に深く感謝するとともに、またこのような機会があるならば参加したいと感じた。

建築見学会の感想

広島工業大学環境学部環境デザイン学科3年
b104174 和田 靖弘

今回、香川県にある東山魁夷せとうち美術館とイサムノグチ庭園美術館、高松市庵治支所の3カ所を見学しました。建物を雑誌やパンフレットで見るのと実際見るのではスケール感や建物全体の印象が違いました。

東山魁夷せとうち美術館は、エントランスまでの道とデジタル展示室を抜けてラウンジに至るときの眺望がとても印象的でした。視線を少しでもかえることでまた違った視界が開け、雄大な瀬戸内海を堪能することができました。あと、展示室にあった柱の意味がずっと気になっていました。内も外もすべて直線で高さも大きく変えていることの魅力を感じました。この美術館は、すごくゆとりがあつて空間を楽しむことができて良かったです。



イサムノグチ庭園美術館は、「エナジーヴォイド」がとても印象的で、パンフレットで想像していたのとは全く大きさが違う感じがするほどの迫力がありました。近くで見て、構造的にうまく創られていてとても刺激を受けました。これから先、イサムノグチを超える石の彫刻家は現れないと思いました。どういう意図で彫刻されたのがまだ自分には感じ取れるほどの感性がないので意味が分からなかったけど、とてもすごい人だと思いました。とてもそういう意味では勉強になりました。

高松市庵治支所は、高松市に新しい環境を作り出す建築に当てはまっていたように感じます。印象に残ったのは広場中央にあったガラス張りの議場です。表情や雰囲気は直接外に伝わっていて、また新しい風景を楽しむことができたような気がします。しかし、全く使われていないのが残念に感じました。

全体を通して、色んな意味で自分なりに刺激になり、見て感じたことができてとても勉強になりました。

「建築見学会に参加して」

広島工業大学環境学部環境デザイン学科2年
肉丸春香

日帰りの建築見学会だったが、香川県東山魁夷せとうち美術館、イサム・ノグチ庭園美術館、高松市旧庵治町役場の三箇所を見学した。

最初に谷口吉生さんが設計したせとうち美術館を見学した。私は谷口吉生さんの建築物を見るのは初めてだった。谷口吉生さんの設計で感じたことは、「基本に忠実な建築」、「品格がある建築」、「素直な設計」である。写真で見て大きい建物だと思っていたが、実際に行ってみると以外にコンパクトな建物で驚いた。しかし、実際に

中に入ってみると、広々とした空間が広がっていた。そのスケール観に魅了された。また、外の風景の取り入れ方にも工夫がこなされており、周りの景観との調和も見事であった。作品を鑑賞するときは一切瀬戸内の景色は見えない。そして、作品を見終わると大きなガラス張りの窓から瀬戸内の海が目の前に広がる。この景色の効果で、鑑賞した絵に加えさらなる美意識が生まれるようである。

次に訪れたイサム・ノグチ庭園美術館では、一人の人間から生まれるあらゆる「かたち」の可能性を感じた。様々な石の彫刻は、造型の分野で勉強になった。イサム・ノグチが自分の80歳の誕生日に向けて計画した石の彫刻、何度も何度も計画を練り直して作った石の階段、そのエピソードからイサム・ノグチの人間性に感銘を受けた。その階段を上ってゆくととても豊かでのどかな空間が広がっていた。小高い丘から見下ろす風景はイサム・ノグチが愛した土地の風土をあたたく感じさせてくれた。

そして、最後に旧庵治町役場を見学した。村上徹先生の建築は現代建築を学ぶ上で、非常に勉強になった。空間の使い方、外観のデザイン、存在感に魅了された。中央の鏡張りの会議室を中心に機能的な空間がそれを囲うように広がっていた。外観をさまざまな角度から見ると、それぞれの表情が違い、大変面白かった。ただひとつ残念なことは、すばらしい建築物なのに人の気配がないということであった。建築は人と触れ合ってこそ価値があるのだと思う。10年前、この役場ができ、まだ人の気配があったときには是非見学してみたかった。そうしたら、今よりさらに感動があっただろう。

この建築見学会に参加して、よい建築物を実際に自分の目で見るということの重要性を実感した。この見学会を計画してくださった五三会の皆様に深く感謝している。



第33回五三会建築設計競技結果報告

課題：2007年スタイル ～セカンドステージのために～

33回目となる本年度事業は、課題を「2007年スタイル ～セカンドステージのために～」と題し行われました。

今年は審査員に、若手建築家として現在ご活躍の、河口佳介先生、谷尻誠先生、土井一秀先生そして五三会幹事長でもある、古本竜一先生の四人の先生方をお願いいたしましたところ、みなさんご多忙にも関わらず快くお引受け下さりました。

本年度も、準備の不適際から応募期間を十分に設けることができませんでしたが、昨年12月7日に応募締切を迎え、広島工業大学をはじめ、諸大学、高専そして専門学校から計37作品の力作が寄せられました。

12月17日に、広島市まちづくり市民交流プラザ内のギャラリーにおいて、審査員の先生方にお越しいただき、応募された学生の皆さんや広島でご活躍中の建築家の先生方など約50名以上が見守る中、公開審査会が執り行われました。

審査は五三会副会長で建築家としてご活躍の平田欽也先生にコーディネーターをお願いしました。

まず一次審査通過相当の作品を選出したのち、惜しくも選にもれた応募作品一つ一つに講評をいただきました。一次審査を通過した作品については、応募された方に一作品3分間でプレゼンテーションを行い、審査員の方々からの質疑応答を行いました。

残念ながら、一次審査通過者の中で2名(グループ)の方が欠席でしたが、非常に有意義な時を過ごすことができました。

その後、審査員の先生方の投票、協議、再び投票を経て各賞を決定しました。

応募総数の多さもさることながら、どの応募作品も力作揃いで甲乙つけ難く、大変悩まれた様子でした。審査結果は別記の通りとなりました。

入選の皆さん、おめでとうございます。

残念ながら誌面の都合により、ここでは入選作品の紹介のみに留まらせていただきますが、応募された作品はどれも、一生懸命に取り組まれた感じが感じられました。

今後とも、この設計競技がより発展していきますよう、皆様方の一層のご理解とご協力をお願い致します。

最後になりますが、先生方にはこの建築設計競技事業にご理解を頂き、ご多忙の中審査、講評そして座談会にと貴重なお時間を割いて頂きましたことお礼申し上げます。

また、本年度事業も時間的余裕のあまりないスケジュールでしたが、遠方を含み多くのご応募をいただき、応募して下さった皆様にお礼申し上げます。

ご参加ありがとうございました。

以上にて、本年度建築設計競技事業の報告を終わります。



審査結果 (敬称略)

最優秀賞

戸田 祐輔 相川 晋吾 中村 萌
(広島工業大学大学院環境学研究所 地域環境科学専攻)

最優秀賞

塚川 譲 花岡 芳徳 平林 由衣 佐伯 舞
(広島工業大学大学院)

優秀賞

植田 開 槌田 瞳 龍野 裕平 三好 絢子
(広島工業大学)

河口賞

佐伯 直樹
(広島工業大学環境学部環境デザイン学科 4年)

谷尻賞

笹江 章弘 河南 透 森田 淳
(広島工業大学環境学部環境デザイン学科 村上徹研究室)

土井賞

後藤 真
(フリー (福山大学大学院修了))

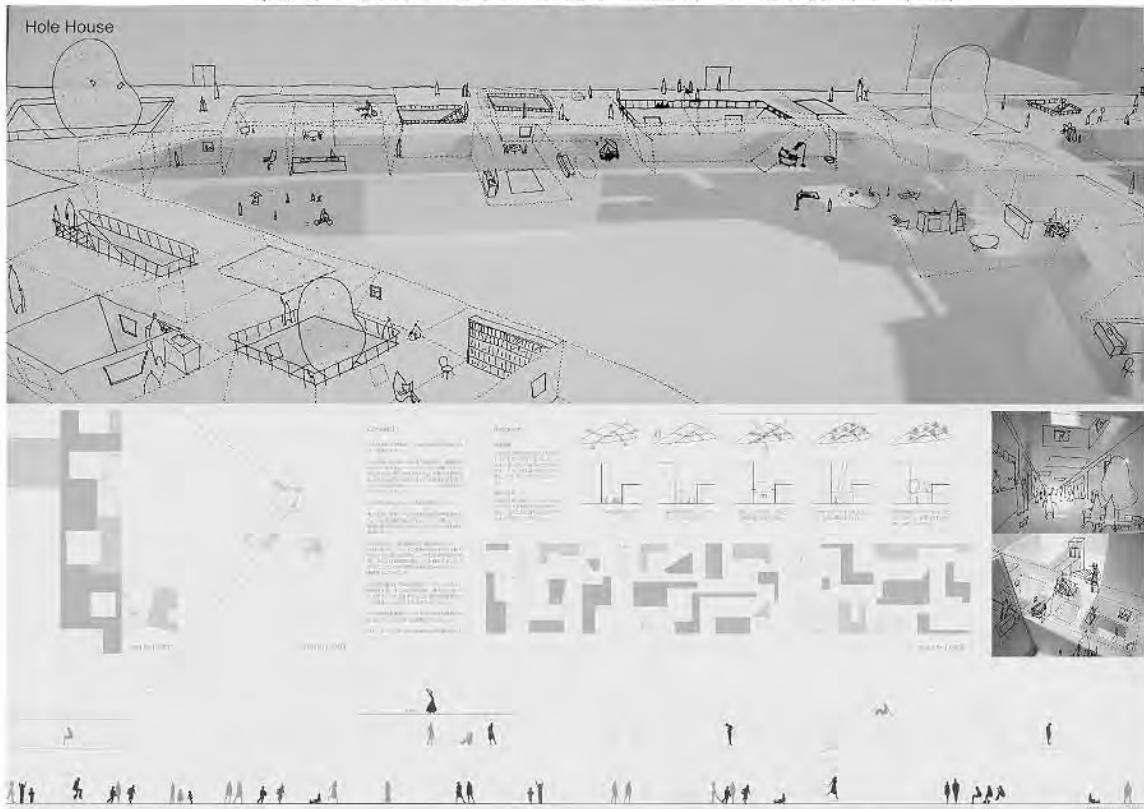
古本賞

中濱 弘高 松本 真明
(広島工業大学環境学部環境デザイン学科 村上徹研究室)



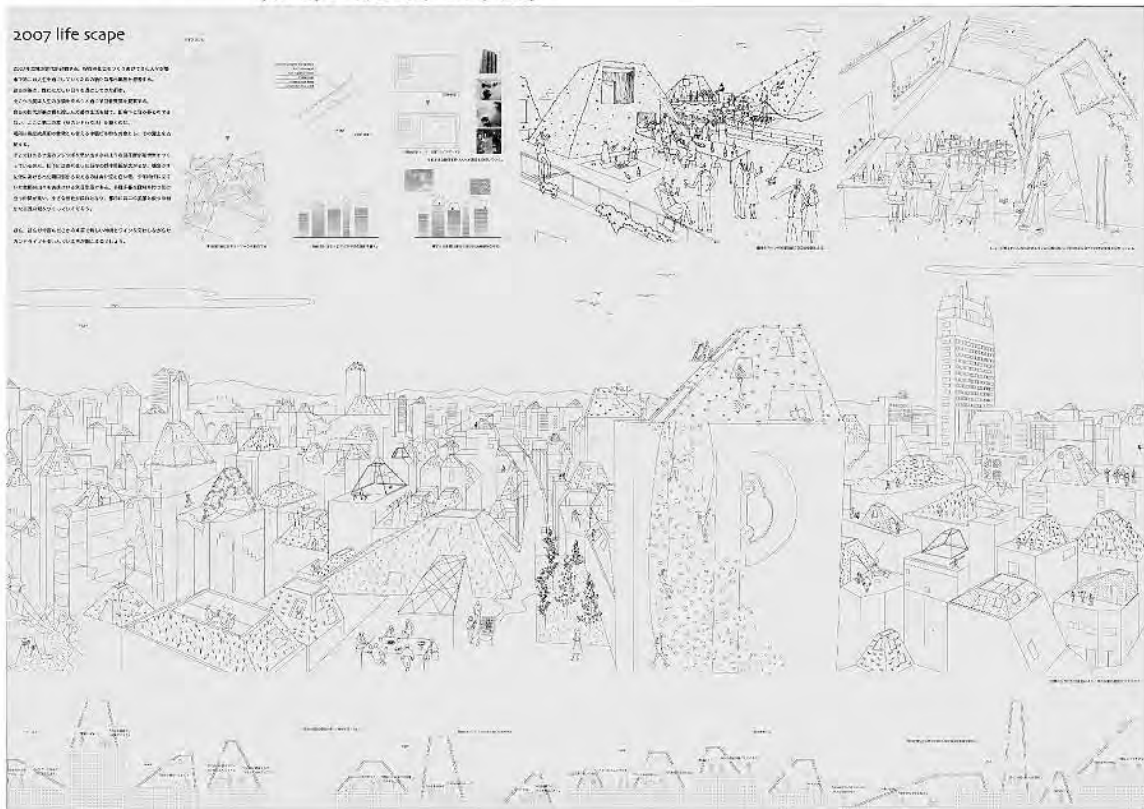
最優秀賞

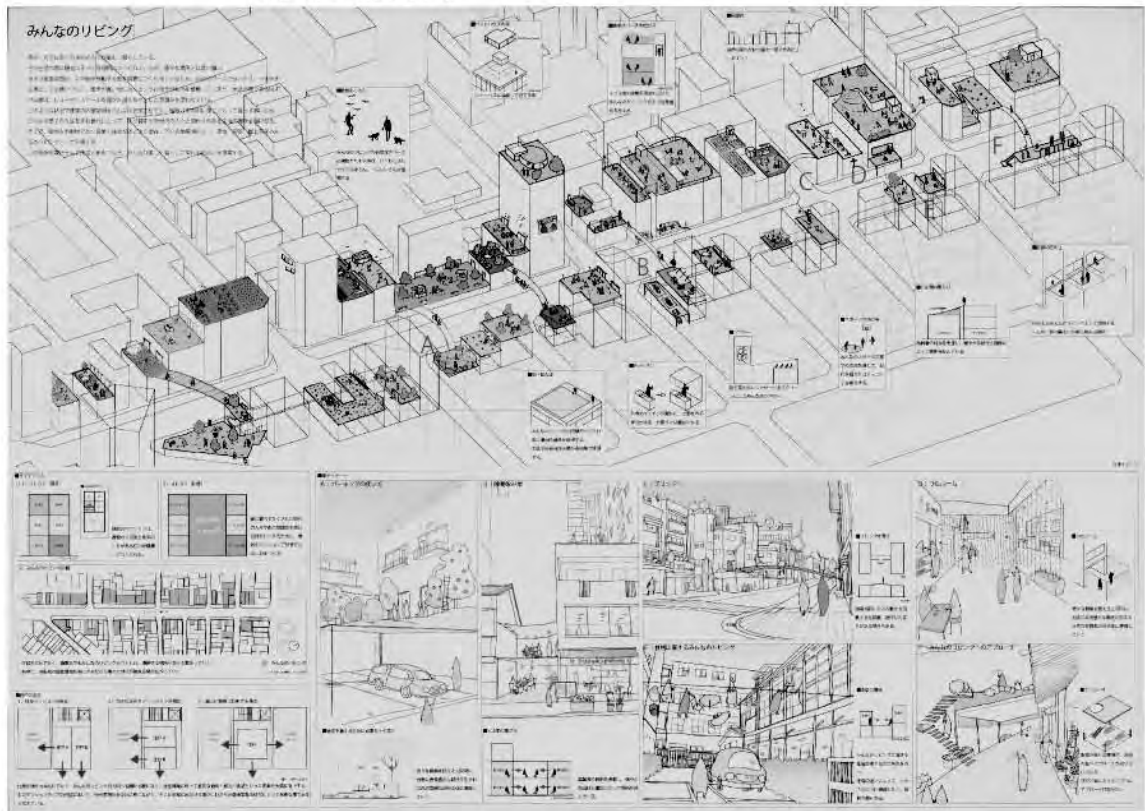
户田 祐輔 相川 晋吾 中村 萌
 (広島工業大学大学院環境学研究科 地域環境科学専攻)



最優秀賞

塚川 譲 花岡 芳徳 平林 由衣 佐伯 舞
 (広島工業大学大学院)





■ 審査員プロフィール (五十音順・敬称略)

河口 佳介 (かわぐち けいすけ)

1967 広島県生まれ
1990 福山大学工学部建築学科 卒業
1990 株式会社鈴木工務店設計部 勤務
1999 K2-DESIGN 一級建築士事務所 設立
2000 K2-DESIGN Inc. 設立
2005 穴吹専門学校非常勤講師

土井 一秀 (どい かずひで)

1972 広島県生まれ
1997 広島大学大学院工学研究科 修了
1997-2001 小川晋一都市建築設計事務所 勤務
2001 Reich and Hall Architects 勤務 在エジンバラ
2002 Diener & Diener Architekten 勤務 在バーゼル
2002-2003 文化庁芸術家在外研修員として
foreign office architects 勤務 在ロンドン
2004 土井一秀建築設計事務所 設立
現在 近畿大学工学部非常勤講師

谷尻 誠 (たにじり まこと)

1974 広島県生まれ
1994 穴吹デザイン専門学校 卒業
1994-1999 本兼建築設計事務所
1999-2000 HAL 建築工房
2000 建築設計事務所
Suppose design office 設立
現在 穴吹デザイン専門学校非常勤講師

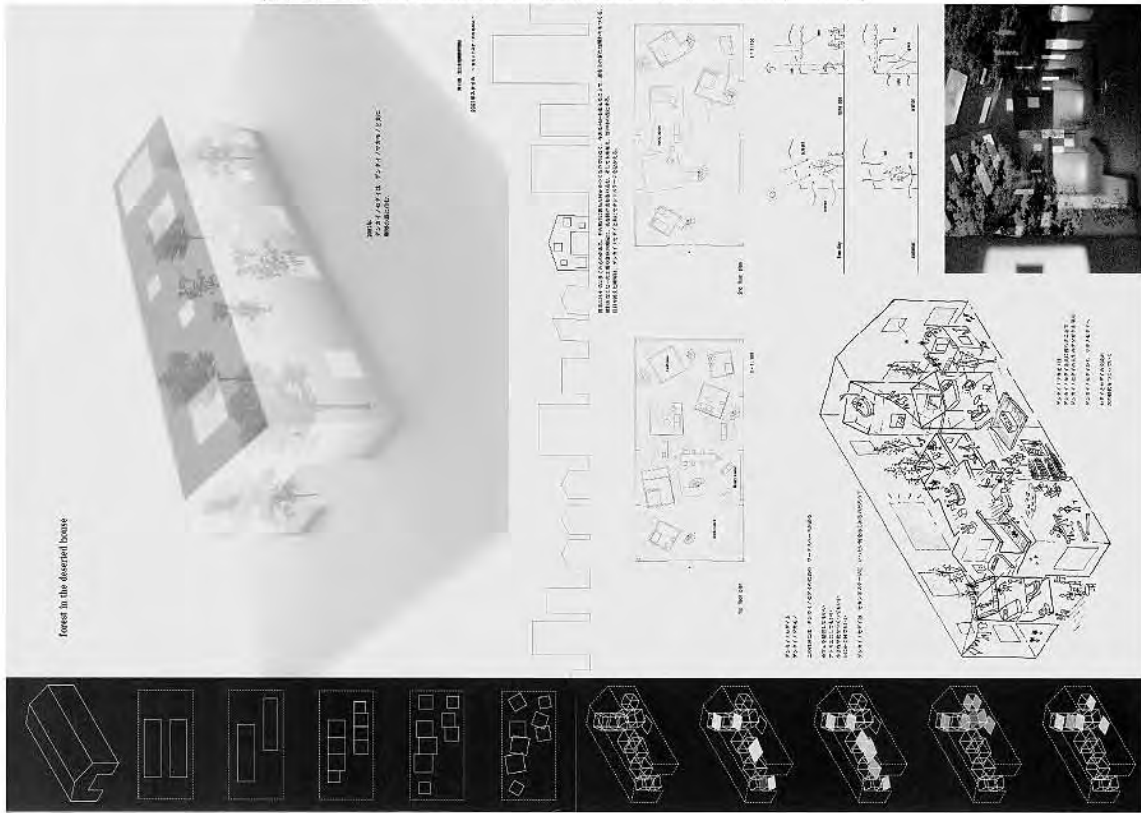
古本 竜一 (ふるもと りゅういち)

1964 広島県生まれ
1987 広島工業大学工学部建築学科 卒業
1992 一級建築士事務所 古本建築設計事務所 開設
1993 株式会社古本建築設計 設立
現在 APEC アーキテクト 登録建築家
(社)日本建築家協会 建築家認定評議会登録建築家
広島工業大学環境学部環境デザイン学科非常勤講師

知 河口賞

佐伯 直樹

(広島工業大学環境学部環境デザイン学科 4年)



知 谷尻賞

笹江 章弘

河南 透

森田 淳

(広島工業大学環境学部環境デザイン学科 村上徹研究室)



広島工業大学 建築・環境系教職員名簿

氏名	職名	担当分野
[工学部 建設工学科建築工学コース]		
佐藤 立美	教授	建築構造
高松 隆夫	教授	建築構造
宮崎 祐助	教授	建築構造
岩井 哲	教授	建築構造
清田 誠良	教授	建築環境
佐藤 洋	助教授	建築計画
福田 由美子	助教授	建築計画
玉井 宏章	助教授	建築構造
貞末 和史	講師	建築構造
[環境学部 環境デザイン学科]		
水田 一征	教授	建築意匠・建築論
篠原 正道	教授	建築設備・環境計画
森保 洋之	教授	建築計画・地区計画
菅原 辰幸	教授	都市・地域計画
野添 久視	教授	建築構造
久保 泉	教授	数 学
黒岩 俊介	教授	建築歴史・意匠
上嶋 英機	教授	海域環境管理・修復
三村 泰臣	教授	生活文化
青山 吉隆	教授	都市環境政策
村上 徹	教授	建築デザイン設計
廣川 協一	助教授	建築計画・地域施設計画
手越 義昭	助教授	建築情報システム技術
三好 孝治	助教授	地図情報処理
脇田 祥尚	助教授	地域生活空間計画
平田 圭子	助教授	インテリア計画・ユニバーサルデザイン
遠藤 吉生	助教授	建築デザイン設計
杉田 洋	助教授	建築経済・ファシリティーマネジメント
前田 真子	講師	住宅計画
楠木 佳子	講師	英 語



平成18年度卒業設計展
平成18年度五三学生会大賞審査

五三会活動報告

平成18年度（2006年度）「五三会」活動報告

幹事長

古本 竜一（85年卒）

□「五三会」総会

前年度活動報告

前年度決算報告

次年度活動計画の承認

予算案の検討及び承認

役員改選案の承認

日時・平成18年4月29日

場所・広島サンプラザ

□幹事会

平成18年度年間行事案の検討

平成18年度各役員・幹事の連絡網の確認

会報誌について検討並びにホームページの検討

建築見学会の検討

学生との交流会の検討

建築設計競技の活動状況報告

前年度広告掲載費の回収状況報告、および

平成18年度広告掲載募集についての検討

新入会員の入会状況の報告

忘年会の検討

日時・平成18年度は5回の幹事会を開催

場所・アステールプラザ他

□卒業生（五三会）を講師とした業界研究

大学並びに五三会共催による学生ガイダンス

日時・平成18年11月13日

場所・広島工業大学

□交流事業部会

学生との交流会の開催

日時・平成18年11月13日

場所・広島工業大学学生会館

忘年会の開催

日時・平成18年12月17日

場所・カルネイン（パセーラ10階）

□デザイン活動推進事業部会

「五三会」建築見学会開催

日時・平成18年7月15日

場所・香川県立東山魁夷せとうち美術館

イサムノグチ庭園美術館

高松市庵治支所

参加者：54名（OB 6名＋学生48名）

第33回「五三会」建築設計競技の

開催・公開審査会・表彰式

テーマ：「2007年スタイル

～セカンドステージのために～」

応募数：37作品

審査員：河口圭介氏、谷尻誠氏、

土井一秀氏、古本竜一氏

日時・平成18年12月17日

場所・広島市まちづくり市民交流プラザ

□広報事業部会

会報誌「ITSUMIKAI」第33号編集・発刊

五三会ホームページの更新・管理

□広告担当

会報誌「ITSUMIKAI」及びホームページに掲載

広告募集依頼・掲載企業との調整

□「五三会」名簿管理担当

「五三会」正会員名簿の更新・管理

□顕彰制度認定事業委員会

五三会栄誉賞の認定並びに表彰

五三会学生大賞認定並びに表彰

平成18年度役員リスト

(会 長)	渡辺 武彦 (69年卒)
(副 会 長)	松田 智仁 (80年卒)
	平田 欽也 (85年卒)
(会 計)	田中 義登 (88年卒)
	小瀧 宏治 (94年卒)
(会計監査)	松本 孝志 (77年卒)
	神垣 聡志 (86年卒)
(書 記)	織田 一昭 (90年卒)
	奥野 功貴 (92年卒)
(幹 事 長)	古本 竜一 (87年卒)
(副幹事長)	三島 久範 (85年卒)
	盛岡 隆治 (87年卒)
(顧 問)	梶山 孝之 (74年卒)

五三会収支決算報告

平成18年度収支決算報告

(平成19年3月1日現在)

◆収入の部				(単位 円)
繰	越		金	4,922,594
新	員		費	595,630
広	告		料	210,000
利	収		入	19
息				
合			計	5,728,243
◆支出の部				(単位 円)
会	議		費	43,694
バ	イ	ト	費	92,750
名	簿	作	品	9,796
印	成	刷	費	23,825
金	融	機	料	980
雑			費	3,420
広	報	誌	費	91,800
会	報	誌	費	101,430
会	報	誌	費	113,250
広	報	誌	費	0
デ	ザ	イ	費	375,032
企	画	活	費	38,500
交	流	事	費	88,929
学	生	大	費	3,192
予	練	越	品	60,000
			費	4,681,645
合			計	5,728,243

平成19年度収支予算(案)

◆収入の部				(単位 円)
繰	越		金	4,681,645
新	員		費	800,000
広	告		料	230,000
合			計	5,711,645
◆支出の部				(単位 円)
会	議		費	100,000
バ	イ	ト	費	90,000
名	簿	作	品	10,000
印	成	刷	費	40,000
金	融	機	料	1,000
雑			費	10,000
広	報	誌	費	100,000
会	報	誌	費	250,000
会	報	誌	費	150,000
広	報	誌	費	60,000
デ	ザ	イ	費	350,000
企	画	活	費	50,000
交	流	事	費	100,000
学	生	大	費	30,000
予	練	越	品	100,000
			費	4,270,645
合			計	5,711,645

建築学科記念事業基金収支決算報告

平成18年度収支決算報告

(平成19年3月1日現在)

◆収入の部				(単位 円)
繰	越		金	996,553
利	息	収	入	77
合			計	996,630
◆支出の部				(単位 円)
雑			費	0
在	学	生	交	209,478
在	学	生	助	100,000
繰	越		成	687,152
合			計	996,630

平成19年度収支予算(案)

◆収入の部				(単位 円)
繰	越		金	687,152
合			計	687,152
◆支出の部				(単位 円)
雑			費	10,000
在	学	生	交	100,000
在	学	生	助	150,000
繰	越		成	427,152
合			計	687,152

広島工業大学建築・環境系同窓会

「五三会」会則

第一章 総則

- 第1条 本会は広島工業大学工学部建築学科・同土木工学科
建築工学科・環境工学部環境デザイン学科（以下
「五三会」と称す）同窓会「五三会」と
称する。
- 第2条 本会は、本部を広島工業大学内に置く。但し、総会
で必要と認められた場合に支部を置くことを得る。
- 第3条 本会は会員相互の交誼を厚くし、かつ母校の建築・
環境系学科の発展に貢献することを目的とする。
- 第4条 本会は前述の目的達成のために下記の事業を行な
う。
- (1) 集會
 - (2) 相互の連絡並びに共助に関すること
 - (3) 会誌及び会名簿の発行
 - (4) 母校に対する精神的、物質的援助
 - (5) 会員の功績に対する顕彰
 - (6) その他本会の目的達成に必要な事

第二章 会員

- 第5条 本会は下記の者を以て組織する。
- (1) 正会員
広島工業大学建築・環境系卒業生(大学院を含
む)のうち会費を納入した者
 - (2) 準正会員
正会員以外の広島工業大学建築・環境系卒業
生(大学院を含む)
 - (3) 特別会員
母校建築・環境系教職員及び旧教職員
 - (4) 名誉会員
本会に貢献し、名誉会員としてふさわ
しいと総会で認められたもの

第三章 役員

- 第6条 本会は下記の役員を置くことができる。
- (1) 名誉会長 1名
 - (2) 会長 2名
 - (3) 副会長 2名
 - (4) 会計 2名
 - (5) 会計監査 2名
 - (6) 幹事長 1名
 - (7) 幹事 若干名
 - (8) 書記 2名
- 第7条 本会の役員は次の方法で決める。
- (1) 名誉会長は総会をもって推す
 - (2) 会長は副会長・幹事長・会計・会計監査・書
記は総会で正会員の中から選ぶ
 - (3) 幹事は総会の決議により正会員の中から委嘱
する
- 第8条 各役員はそれぞれその任務を持つ。各役員はそれ
ぞれの任務を担う。会長は本会を代表し、総会を
総括する。副会長は会長を助け、支障がある場合は代理する。
会計は本会の会計事務を担当する。会計監査は会計事務を
監査する。幹事長は本会の幹事事務を主掌する。書記は
本会の書記事務を担当する。
- 第9条 役員は任期は一年とし、再任をさまたげない。但し
役員は任期満了前には、必要に応じて補充し、これによつて就任し
た者の前任者の残りの期間とする。

第四章 顧問

- 第10条 この会に顧問は若干名をおく。
- (1) 顧問は総会の決議により適任者を委嘱する
 - (2) 顧問は会の諮問に応じる

第五章 会議

- 第11条 会議を分けて定期総会、臨時総会、役員会及び事業
委員会とする。
- 第12条 総会は最高の議決機関で毎年1回開く。臨時総会は
役員会が必要と認められた時、会長が召集する。
- 第13条 総会は次のことを決める。
- (1) 会則の変更と改正
 - (2) 決算及び予算
 - (3) 事業委員会の組織
 - (4) その他緊急事項の協議
- 第14条 役員会は会長が認められた時召集し、次のことを決める。
- (1) 総会に附議する原案
 - (2) この会の運営に関する諸事項
 - (3) 事業委員会の組織
 - (4) その他緊急事項の協議
- 第15条 事業委員会は必要に応じて役員により組織し、第4
条に掲げる事業についてその事務を処する。
- 第16条 会議の議決は出席者の過半数をもって決定し、賛否
同数の時は議長がこれを決定する。

第六章 会計

- 第17条 この会の経費は会費、寄付金及びその他の収入をあ
つて、正会員は終身会費として、入会時に10,000円を納
入しなければならない。
- 第18条 この会の会計年度は4月1日に始まり、翌年3月31日
に終わる。

第七章 委任事項

- 第19条 この会則に定めのあるもののほか、必要な事項は役
員会においてこれを定める。

付則

- 本会則は、平成8年度から施行する。
旧会則で正会員であったものは、本会則における正会員に移
行する。

ITSUMIKAI 第34号 (平成19年度版) スポンサー一覧

(順不同)

山本窯業化工株式会社 広島営業所
株式会社 INAX 中国支社
株式会社島屋
東陶機器株式会社 中国支社
シンコー広島株式会社
JFE鋼板株式会社

広島菱重興産株式会社
正田建設株式会社
株式会社日立ビルシステム中国支社
株式会社日興
ハローデンイン株式会社

会報誌ITSUMIKAIはホームページに移行いたします

会報誌ITSUMIKAI休刊のお知らせ

会報誌ITSUMIKAIをご愛読いただきましてありがとうございます。さて、五三会も創立40周年を迎えようとしておりますが、昨今の同窓会離れは本会も例外でなく、新規入会者の減少や広告収入の減少傾向に歯止めがかからないのが実情です。こうした中、本会の事業の大きな柱のひとつである会報誌につきましても見直しを進めてまいりました。平成14年度の29号からは誌面を簡略化しまして、印刷費や郵送費などを削減いたしました。また、取材や編集作業のほとんどを会員のボランティアで支えていただきながら継続の努力をしてまいりました。しかしながら、毎年、会報誌をお送りする会員の方々が増加して行く一方で、卒業時の終身会費が主な収入源の現状では、これ以上会報誌を印刷し郵送し続ける財源の確保が難しくなっております。

代替策といたしまして、数年前より五三会ホームページを立ち上げ、会員の皆様に情報を提供できるよう整備してまいりました。この度、その体制も整い、周知されてきましたので、会報誌に代わる

五三会会長 渡辺武彦 (69年卒)

情報伝達手段としてホームページにその役割を委ねたいと考えております。今後は、会員の皆さまへのタイムリーな情報提供はもちろんですが、インターネットという新しいメディアの特徴を生かし、会員相互でも情報交換ができるようなホームページに育てて行く所存です。まだ、ホームページをご覧いただいていない方は、是非一度検索をお願いいたします。ホームページに関するご意見やご希望の書き込みや、投稿情報などをお待ちしております。

会報誌ITSUMIKAIは、次号の35号を持ちまして印刷物としては休刊といたす予定です。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、長年、会報誌ITSUMIKAIをご愛読いただいた皆様と、発行を支えてこられた役員の方々に、紙面をお借りしてお礼申し上げます。

◆五三会ホームページ

<http://www.itsumikai.jp/>

五三会事務局・第34号会誌についての表記

<p>「五三会」第34号編集委員 松田智仁 (80年卒) 平田欽也 (85年卒) 三好征一 (97年卒)</p> <p>五三会事務局 (連絡先) 〒731-5143 広島県広島市佐伯区三宅二丁目1番1号 広島工業大学環境学部環境デザイン学科 菅原研究室内 TEL.082-921-3121 (代)</p>	<p>広島工業大学 建築・環境系同窓会会誌 「五三会」第34号</p> <p>編集責任者 平田 欽也 発行責任者 渡辺 武彦 企画・制作 ハローデンイン株式会社 有限会社工房知の匠</p> <p>発行 平成19年3月</p>
--	--